

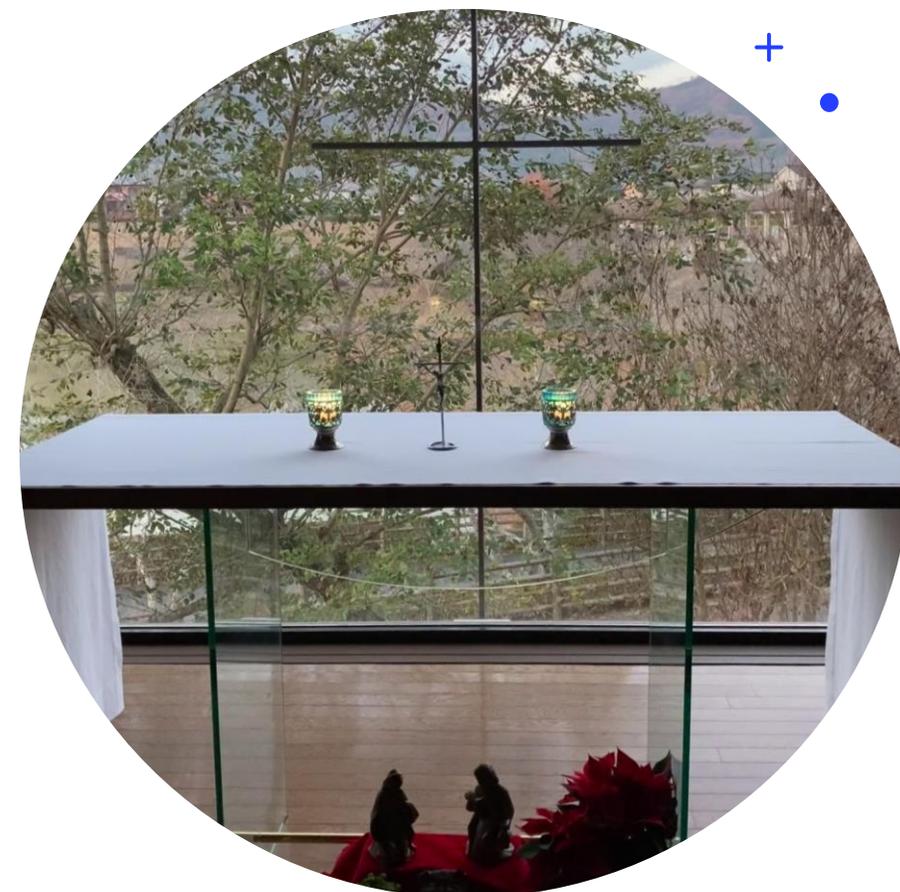
キャンドル ナイト報告（1）

待降節第2主日12月10日に当修道会の東広島修道院にて、キャンドルナイトを行いました。皆様に呼びかけるにあたり、まず、シスターたちで実践してみることにしました。

夕方5時から、聖堂の電気を消し、ろうそくの明かりのみにして、ロザリオの祈りのCDを聞きながら、30分くらい座りました。（右の写真は、始める前の様子）

ちょうど夕暮れ時で、だんだんと暗くなっていくにつれ、心が落ち着いてきて、穏やかになっていきました。また、カップろうそくの炎は、初めほとんど見えませんでした。だんだん明るくなっていき、夕闇の中では、なぜか激しく揺らいでいました。

ロザリオの祈りが一環終わった頃には、辺りは、ほぼ真っ暗で、聖堂全体に、平安と静寂さが満ちていました。



キャンドル ナイト報告（2）



今回の企画は、待降節中であり、イルミネーションの華やかな時期にする意味があるのか教会の会議で質問が出ました。「光は暗闇の中で輝いている。」（ヨハネ1・5）そのイエス様を実感するため、あえて電気を消して、暗い中に身をおいてみる体験は貴重でした。

また、冬至の日は、当教会のクリスマスの電飾は消すこと、そして、来年度は、太陽光発電で、電飾を灯すことができないか検討することになりました。

- さらに、この企画は、広島地区センターから各小教区へ配信され、いくつかの教会の週報で紹介されました。

ただ、何人くらい参加があったのか確認できませんでした。SNSへ発信する場合は、主催者名にもタグを付けて投稿してもらうことの大切さを学びました。

暗い部屋の中では、ろうそくの灯りが、ほんのりと周りを照らして何だか優しい気持ちになります。

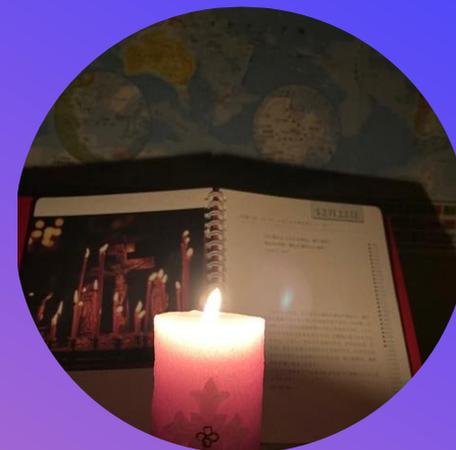


キャンドルを付けて、暮れていく時間と明けていく時間が一番好きです。



ろうそくを見ると穏やかな気持ちになってとても癒されました！

ろうそくの火で煩いを燃やし、浄めてください。



ろうそくの火を見つめて静かに祈る時間は、かけがえのない体験でした。



ゆっくり座れました。



キャンドル ナイト報告 (3)